



会 期 平成31(2019)年
1月5日(土)～2月11日(月・祝)
会期中無休

開館時間 9:00～17:00

※金曜日は19:00まで、入場は閉館の30分前まで
※1月5日(土)は10:00開場

料金 一般 1,200円 (1,000円)
高・大学生 800円 (600円)
小・中学生 500円 (300円)

※()内は前売り・20名以上の団体料金

11月5日(月)から
前売券発売開始!



- JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぷる～ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)



広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum

【開催趣旨】

フランスを代表するポスター作家、レイモン・サヴィニャック(1907-2002)。シンプルな造形とあざやかな色彩、ユーモアに満ちた表現で、瞬時に人の心を射抜く彼のスタイルは、第二次世界大戦後、フランスにおけるポスターの伝統を一新しました。

出世作となった《牛乳石鹸モンサヴオン》が認められたのが41歳と、ポスター作家としての出発は決して早くはなかったものの、その後ダンロップ、ミシュラン、シトロエンほかヨーロッパの錚々たる企業のビジュアル広告を次々と手がけ、日本企業の広告も制作しました。

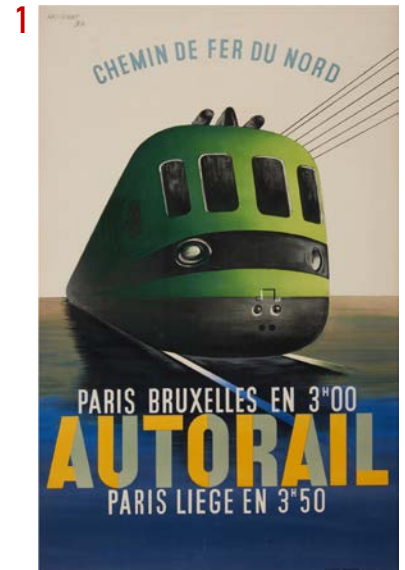
本展では、縦3メートル以上に及ぶ迫力の大型ポスターから、ポスターが並ぶ当時の風景写真、貴重な原画や資料まで、約200点を通して、ユーモアとエスプリあふれる作風でパリの街角を彩ったサヴィニャックの世界をご紹介します。

【展覧会の構成】

I ポスターの魔術師サヴィニャックが誕生するまで

- 1 幼年期～ポスターに魅入られるまで
- 2 カッサンドルに学ぶ
- 3 戦時中・戦後の時代
- 4 サヴィニャックと出版物

子ども時代の写真や、アール・デコのポスターで知られる巨匠、カッサンドルに師事した修業時代の作品などを通し、サヴィニャックがポスター作家として成功するまでの道のりを辿ります。また、ポスターだけに留まらない、雑誌や書籍の表紙などデザイナーとしての幅広い仕事もご紹介します。



《北部鉄道：ディーゼル特急》
1937年 パリ市フォルネー図書館蔵

II 10の項目から見つめるサヴィニャックのポスター

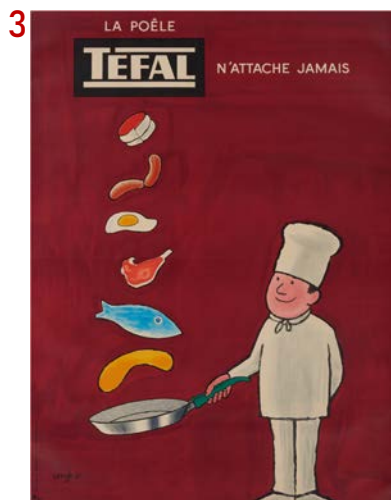
サヴィニャックのポスターは、シンプルな造形と鮮やかな色彩、何よりかわいらしいイラストとそこに込めた陽気なユーモアでそれまでのポスターの伝統を刷新し、多くの人々に愛されてきました。

本展では、代表作を含む数々のポスターを、年代順ではなく、描かれたモチーフごとに10の項目に分けて展示します。時に複数の作品でくりかえされるサヴィニャック独自のユーモアあふれる表現には、「メッセージをいかに伝えるか」というデザインの理念を追求しつづけた作家の工夫を見ることができます。

リトグラフの技法で刷られた、約3×4メートルにも及ぶ色鮮やかな大型ポスターは必見。木村伊兵衛やロベール・ドアノーらによる、当時の景観写真もあわせてご覧いただくことで、サヴィニャックのポスターが貼られた20世紀パリの街角により一層思いを馳せることができるでしょう。



《牛乳石鹸モンサヴオン》
1948/50年 パリ市フォルネー図書館蔵



《ティファール・フライパンは絶対焦げつかない》
1960年 パリ市フォルネー図書館蔵



《ドップ:清潔な子どもの日》1954年 パリ市フォルネー図書館蔵



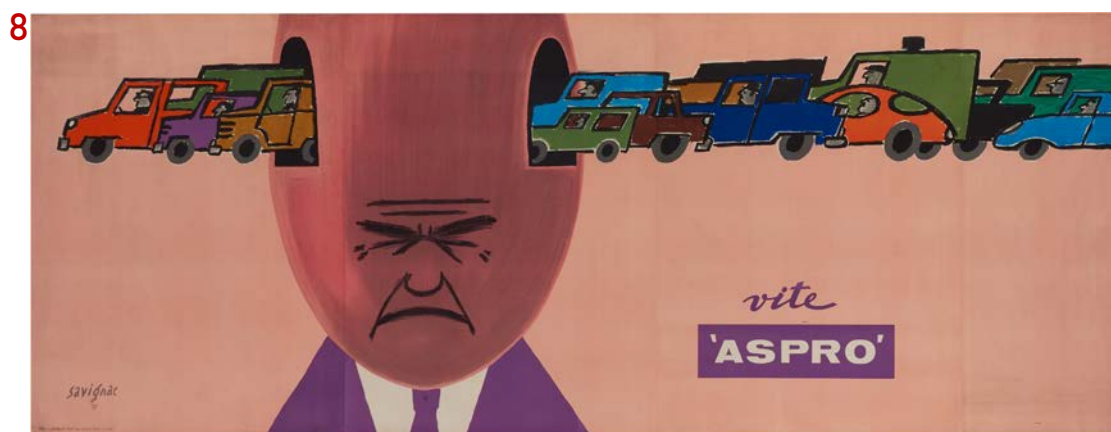
《ひとりでに編めるウット毛糸》
1949/51年 パリ市フォルネー図書館蔵



《フリジェコ:良質の冷蔵庫》
1959年 パリ市フォルネー図書館蔵



《ルノー4》
1963年 ティエリー・ドゥヴァンク・コレクション



《早く! アスプロ(鎮痛剤)》1963年 パリ市フォルネー図書館蔵



《ジターヌ》
1954年 パリ市フォルネー図書館蔵



《ビック:新しいボール(スイス版)》
1960年 パリ市フォルネー図書館蔵



《1951年、パリ誕生2000年記念》
1951年 パリ市フォルネー図書館蔵

【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。

©Annie Charpentier 2018

【関連イベント】

講演会（共催：広島県立美術館友の会）

「サヴィニャック：魔法のひみつ」

日時：1月26日（土） 13時30分～15時 [開場13時]

講師：植木 啓子（大阪新美術館建設準備室 研究副主幹）

場所：地階講堂（先着200名）

※事前申込不要 ※聴講無料

ワークショップ

「自分を伝えるロゴタイプを作ろう」

日時：1月27日（日） 13時～17時

講師：野村 勝久（グラフィックデザイナー・本展広報物デザイン制作）

場所：地階講堂（先着15名・高校生以上）

※事前申込不要 ※参加費無料

[電話番号:082-221-6246(当館) 1月17日(木)締切]

press release



【関連イベント】

美術講座

ポスターの街・パリとサヴィニャック

日時：2月3日(日) 13時30分～15時 [開場13時]

講師：森 万由子(当館学芸員)

場所：地階講堂(先着200名)

※事前申込不要 ※聴講無料

学芸員によるギャラリートーク

日時：1月11日、1月25日、2月1日(金) 各日11:00～

1月18日、2月8日(金) 各日17:00～

※入館券をお求めの上、会場入口付近にお集まりください。

ウェブレポーター大募集

日時：1月11日(金) 17:00～18:30

場所：3階ロビー

対象：インターネットを通して本展PRにご協力いただける一般の方

※事前申込不要。実施当日に限って本展にご招待します。

ロビーコンサート

「パリの街角で ～ マヌーシュ ジャズ」

日時：1月19日(土) 12:00～

演奏：TONTON TRIO

会場：1階ロビー

※事前申込不要 ※鑑賞無料

《広島市映像文化ライブラリー関連上映》

サヴィニャックがポスター制作に関わったロベール・ブレッソン監督作『ラルジャン』、影響を受けたといわれる喜劇映画の中から、『ロイドの巨人征服』をピアノ生演奏つきで上映します。

■「ラルジャン L'Argent」

日時：1月12日(土) ①14時～ ②18時～

鑑賞料：無料

■「ロイドの巨人征服 Why Worry? (生演奏付サイレント映画上映)」

日時：1月13日(日) 14時～ ピアノ演奏：小林 知世

鑑賞料：大人380円、シニア(65歳以上)180円、高校生180円、小・中学生無料

※いずれも会場は広島市映像文化ライブラリーとなります。

press release



【開催概要】

メインタイトル：サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法

英語名：SAVIGNAC the enchanter: Magical World of a Parisian Poster Artist

料金：一般 1,200(1,000)円 高・大学生800(600)円 小・中学生500(300)円

※()内は前売り・20名以上の団体料金

※学生券をご購入、ご入場の際は学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者
(1名まで)の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。

前売券販売所：広島県立美術館、セブンイレブン(セブンチケット 069-235)、広島市・呉市内の主な
プレイガイド、画廊・画材店などで販売しています。

開催クレジット

主催：広島県立美術館、イズミテクノ、中国放送、読売新聞社 美術館連絡協議会

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

特別協力：パリ市

協力：日本航空

特別協賛：大日本印刷

協賛：ライオン、損保ジャパン日本興亜、サントリーコミュニケーションズ株式会社、大和証券、
リベラ株式会社、大田鋼管、広島県信用組合

企画協力：DNPアートコミュニケーションズ

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22 TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail m-kaminishis4677@pref.hiroshima.lg.jp (上西宛)または、iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 森 万由子

広報担当：総務課 上西 真由美 一色 直香